

## 令和2年度第43回全国高等学校柔道選手権大会群馬県予選実施要項（3/6実施改訂版）

1. 主催 群馬県高等学校体育連盟 群馬県高等学校体育連盟柔道専門部
2. 後援 群馬県柔道連盟
3. 日時 令和3年3月6日（土）男女個人試合 女子10時試合開始 男子11時30分試合開始
4. 会場 ALSOK群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館 第一道場  
前橋市関根町800 電話：027-234-5555
5. 競技規定 国際柔道連盟試合審判規定（最新版）ならびに（公財）全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。
  - （1）個人試合
    - ア 試合時間は3分とする。
    - イ 「優勢勝ち」の判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。なお、僅差は「指導差2」とする。
    - ウ 試合終了時に技による評価が同等の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決める。なお、延長戦では「技有」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
6. 新型コロナウイルス対策 本連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催大会等実施ガイドライン」に沿った対策を講じるとともに、細部については、各競技団体作成のガイドラインや群馬県作成の「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等開催ガイドラン」に準じた万全の対策を講じること。
7. 競技方法（1）男女個人試合
  - ア トーナメント戦を行う。
8. 引率・監督（1）引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。（但し、公立学校にあっては教員とする。）また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。
  - （2）選手は必ず、当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。
  - （3）監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
9. 参加資格（1）参加選手は、本連盟柔道専門部に登録した者であって、平成14年4月2日以降に生れた者で1、2年生に限る。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
  - （2）チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
  - （3）転校後6ヶ月未満の者は、参加を認めない。但し、一家転住の場合は特例として参加を認める。
  - （4）参加選手は、日常的に健康状態を確認し、当日は「健康状態申告書」を提出すること。
10. 出場制限（1）男子個人試合 1校監督1名、選手各階級4名以内の計15名以内とする（無差別の選手は他の階級を兼ねる事はできない）。階級は60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、無差別の5階級とする。
  - （2）女子個人試合 1校監督1名、選手の出場数は制限しない。階級は48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、無差別の5階級とする。
11. 大会中止条件 群馬県高等学校体育連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催事業大会等実施ガイドライン」の「2. 県高体連主催大会再開に当たっての基本的考え方」に示されている開催条件が整わない場合。県内の感染状況に鑑みて、安全が確保できないと判断した場合。その他、群馬県教育委員会又は群馬県高等学校体育連盟より大会の中止指示等があった場合。
12. 表彰 各校顧問を通じて以下を授与する。  
個人試合の各階級1～3位に表彰状を授与する。
13. 参加料 個人試合 1名 1,000円 大会当日に受付で監督が納入する。
14. 申し込み 12月25日（金）までに必着。下記事務局にメールと郵送の両方で申し込む。  
〒378-0014 群馬県沼田市栄町165番地2 電話 0278-23-1131  
利根実業高校 福田 隆行 メールアドレス fukuta-8836@edu-g.gsn.ed.jp

15. 組合せ会議等 1月6日(水) 13時30分から県立渋川青翠高等学校(渋川市渋川3912-1)で常任委員会を行う。  
14時30分から常任委員で組み合わせ抽選を行う。
16. 選手変更 個人試合の選手の変更は認めない。
17. 計 量 女子は医務室にて9時10分～9時30分、男子は大道場にて9時40分～10時15分までに行う。  
(時間内計量)
18. 受 付 大会当日、監督及び選手がぐんま武道館玄関にて、次の時間内に行う。  
女子：9時00分～9時15分 男子：9時15分～9時30分
19. 監督会議 書面にて行う。
20. 審判会議 9時45分より第一道場にて行う。
21. そ の 他 (1) 別紙「感染防止ガイドライン」の内容を確認のうえ、遵守する。  
(2) 開会式、表彰式は行わない。  
(3) 選手は所定のゼッケンをつける。  
(4) 全国大会出場権  
個人試合各階級優勝者は令和3年3月19日(金)・20日(土)日本武道館で行われる第43回全国高等学校柔道選手権大会の出場権を得る。  
(5) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。  
1. 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。  
2. 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)  
3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。  
4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。  
(6) 貴重品の管理は各自で行うこと。  
(7) ゴミは必ず持ち帰ること。  
(8) 選手・監督・役員・係生徒・各校補助生徒1名以外の会場への入場は禁止する。  
(保護者や上記以外の部員も入場できない)  
(9) 選手・各校補助生徒は試合終了後、速やかに退館する。  
(10) 声を出しての応援は禁止する(拍手は可)。  
(11) アップの時間・場所については事前に指定する。

